



福井県

中学校長会の窓

発行 福井県中学校長会
編集 福井県中学校長会広報部
印刷 宮田 写植 印刷
福井市春日1丁目7-4
TEL (0776)35-3865

第 147 号

令和6年2月15日発行

令和5年度

福井県中学校長研修会

令和5年11月16日(木) 県自治会館

会長挨拶



福井県中学校長会

会長 合川 修一

に取り組まれていていることと思
います。

本年度の研修会は、例年実施している講演会の形式ではありません。これは、令和6年度東海北陸中学校長会研究協議会が七月に福井で開催されることにより、毎年五月に実施している福井県中学校長研究大会を兼ねる形となるため、東海北陸大会に向けての事前発表の機会がなくなってしまうことがその理由の一つです。時期としてはかなり早いのですが、この研修会をその事前発表の場とさせていただけました。また、東陸福井大会実行委員会の各部会についても打合せ等の時間を確保したいということもあり、併せて実行委員会全体会及び各部会を開催させていただき、今回につきましては県教育委員会からの来賓をお招きせず開催させていただいております。

さて、中学校における勤務時間超過の最も大きな原因の一つとなっている部活動について、各市町教育委員会を中心に地域移行が進められています。令和5年度から令和7年度までの三年間は部活動地域移行の推進期間と位置づけられ、令和8年度からの土日祝日の部活動の完全地域移行に向けて、様々な取組が始められています。これは当然福井県に限ったことではなく、十月に開催された第二回全日本中学校長会理事会の情報交換のテーマがまさに「部活動の地域移行」であり、東海北陸ブロックの校長先生方と各県の進捗状況を紹介し合いました。その内容については午前の理事会で報告させていただきました。進めていくにつれて様々な課題が噴出し、その難しさが明らかになってきているという状況でした。今後もその方向性を探りながらの取組となると思いますが、県中学校長会でもその情報を共有しながら進めていきたいと考えています。

記録的な暑さとなった八月、そしてその暑さは九月に入っても続き、学校祭の実施の仕方にも苦慮された校長先生方も多かったのではないでしょう。それでも、十月に入るとその暑さもおさまって一気に秋へと進み、学習及び研究を充実させる時期となってまいりました。新型コロナウイルス感染症が5類へと移行したものの、まだまだインフルエンザを含めた感染症対策を講じながら、日々の教育活動

本日は、この後来年の東陸福井大会での発表を予定されている南越ブロック 池田中

学校 森岡裕一校長先生と鯖丹ブロック 宮崎中学校 鳥居良行校長先生に現時点での発表をお願いしています。来年度の発表に向けて迷われていること、悩まれていることもきつとおありかと思えます。今回の発表は、準備する期間が十分になかった中でのものであることを皆様に御了承いただいた上で、グループ協議を行っていただき、より良い発表となりますよう建設的な御意見をいただきたいと思えます。

また、東陸福井大会実行委員会における取組におきましても、各部会で周到に進めていただいておりますことに感謝申し上げます。大会まであと八ヶ月余りとなりましたが、福井大会の成功に向けて今後とも御協力いただきますようお願い申し上げます。挨拶とさせていただきます。



第64回 東海北陸中学校長会研究協議会 福井大会 開催概要

- 1 主 題 「新たな時代を切り拓き、よりよい社会を形成していく日本人を育てる中学校教育」
- 2 主 催 東海北陸中学校長会 福井県中学校長会
- 3 後 援 福井県・福井県教育委員会 福井市・福井市教育委員会
全日本中学校長会 福井県小学校長会
- 4 期 日 令和6年7月4日（木）・5日（金）
- 5 会 場
- ◇全体会：フェニックス・プラザ IF エルピス大ホール
〒910-0018 福井市田原1-13-6 TEL 0776-20-5060
 - ◇分科会：フェニックス・プラザ (①2F 小ホール、②B1F 地下大会議室)
A O S S A (③6F601ABC 研修室、④8F 県民ホール)
〒910-0858 福井市手寄1-4-1 TEL 0776-20-1535
 - ハピリン (⑤3F ハピリンホール)
〒910-0006 福井市中央1-2-1 TEL 0776-20-2901
 - 福井県国際交流会館 (⑥B1F 多目的ホール、⑦3F 特別会議室)
〒910-0004 福井市宝永3-1-1 TEL 0776-28-8800
 - 福井商工会議所 (⑧B1F コンベンションホール)
〒918-8580 福井市西木田2-8-1 TEL 0776-36-8111
 - ◇理事会：フェニックス・プラザ 301
〒910-0018 福井市田原1-13-6 TEL 0776-20-5060
 - ◇レセプション：福井市内
 - ◇分科会打合せ会場：各分科会場

6 日 程

(1) 1日目 理事会・分科会

	11:00	12:00	13:00	13:30	16:30	18:00	20:00
4日 (木)	理事会	分科会 打合せ会	受付	分科会		レセプション	

(2) 2日目 全体会・記念講演

	9:00	9:30	10:30	12:00	12:20
5日 (金)	受付	全体会 I	記念講演	全体会 II	

(3) 7月4日(木)の日程詳細

理 事 会 11:00~12:00	分科会打合せ 12:00~13:15	分 科 会 13:30~16:30
フェニックスプラザ301号室	各分科会会場	各分科会会場
○開催県会長挨拶 ○R5年度会務・会計報告 ○R6年度事業計画・予算 ○大会宣言・決議文 ○福井大会概要説明 ○次年度開催県より ・岐阜県(基本構想等)	※昼食 ○挨拶 ○分科会の流れ確認 ・運営責任者、会場責任者、 司会者、発表者の打合せ	○開会の言葉 ○研究協議 ・口頭発表 ・研究協議 ・まとめ ○閉会の言葉

(4) 7月4日(木)分科会研究題・分担及び分科会会場

分 科 会	研 究 題	口頭 発表	司会	会 場
1	「カリキュラム・マネジメント」の推進	三重 石川	石川 福井	フェニックス・プラザ 小ホール
2	「主体的・対話的で深い学び」の実現	愛知 富山	愛知 福井	フェニックス・プラザ 地下大会議室
3	よりよく生きようとする意思や能力を育む道徳教育 の充実	静岡 三重	三重 福井	AOSSA 60IABC 研修室
4	健康で安全な生活と豊かなスポーツライフを実現す るための教育の充実	岐阜 愛知	岐阜 福井	AOSSA 県民ホール
5	社会的・職業的自立に向けたキャリア教育と進路指 導の充実	福井 静岡	静岡 福井	ハピリン ハピリンホール
6	自他を敬愛し他者と協働しながら自己実現を図るた めの自己指導能力を育成する生徒指導の充実	石川 岐阜	岐阜 福井	福井県国際交流会館 多目的ホール
7	「令和の日本型学校教育」を担う教師の育成	愛知 富山	富山 福井	福井県国際交流会館 特別会議室
8	学校と地域の連携・協働による「チーム学校」と 「働き方改革」の実現	福井 石川	石川 福井	福井商工会議所 コンベンションホール

(5) 分科会参加要請人数(会員数の55%、石川県50%、福井県100%)

県 名	岐 阜	愛 知	富 山	石 川	三 重	静 岡	福 井	総 計	グループ 数
会員数(R5)	176	409	76	84	146	255	69	1,215	
参加人数	97	225	44	42	81	140	69	698	
第1分科会	13	22	6	6	15	18	8	88	14
第2分科会	10	20	6	5	10	12	9	72	11
第3分科会	9	17	5	5	10	17	9	72	11
第4分科会	13	36	6	5	10	18	8	96	15
第5分科会	15	40	5	6	10	20	8	104	17
第6分科会	10	24	5	5	9	16	9	78	12
第7分科会	12	30	6	5	10	18	9	90	14
第8分科会	15	36	5	5	7	21	9	98	16
合 計	97	225	44	42	81	140	69	698	110

受付 9:00~9:30	全体会Ⅰ 9:30~10:20	記念講演 10:30~11:50	全体会Ⅱ 12:00~12:20
	○開会式 ・国歌斉唱 ・開会の挨拶 ・来賓祝辞 ・来賓紹介	○講演 ・演題「未定」 ・講師 前田 謙利 氏	○大会宣言・決議文 ○閉会式 ・閉会の挨拶 ・次年度開催県挨拶

7 記念講演

- 演題 「未定」
- 講師 前田 謙利(まえだ かまり)氏
書家、プレゼンテーションクリエイター。株式会社「固(かたまり)」代表取締役
一般社団法人プレゼンテーション協会代表理事

8 大会参加費 7,500円

- 9 大会事務局 東海北陸中学校長会研究協議会福井大会事務局(福井県中学校長会事務局)
〒910-0854 福井県福井市御幸3丁目10番20号 近藤ビル1F
TEL・FAX:0776-25-0142 E-mail:chukocho@mo.mitene.or.jp



シンボルマークについて

福井の地図を、勝山市で有名な恐竜の形に見立て、64回の数字を恐竜の脚に見立ててあります。回を表す「'」は、恐竜の手になります。FUKUIのIの上にある目の位置が、開催地の福井市の位置になるようにしました。
64の文字をからめて、手を取り合う意味を込めました。全体として、福井の地で皆が集まって、元気を得て欲しいという意味にしました。

校長三昧



今日が一番若い日

明道中学校長 新道 正芳



校長職として六年間過ぎてきた中で、個人的に大きな転換を果たしてきたと振り返っています。

一 キヤッシュレス決済の日常化。
マイナンバーカード取得によるマイナポイント付与のため、積極的にカード利用を始めました。また、QRコード決済やそれに伴う引き落とし銀行のネット決済のためのネット銀行への移行など、身の回りの金融環境が変わりました。

二 保険の見直しと金融資産活用。
これまで続けてきた教員対象保険商品の手数料が無駄であることに気づき、損切り覚悟で見直し、資産活用に踏み出しました。店舗型金融機関を止め、ネット証券会社などで金融商品を活用し始め、身の回りの経済環境と

今後の資産形成観念が大きく変わりました。

三 次の人生への展望と旗揚げ。
これまで定年六〇歳は「終わり」だと捉えていました。しかし、新しいことに取り組み、新たな分野、経済圏に踏み出してみても、まだ先の期間があること、そして今後にやりたいこと、やれることがあることにも気がきました。還暦同級生と共に音楽・ライブ活動を再開したのもその一つで、今後の人生模様が変わる：と思えます。

この六年間の中で、私の背中を押してくれたのが「今日が一番若い日」という言葉です。幾つになっても、今後を見たら今日が一番若い日：、だからこそ、全く新たな一歩でも、臆さず踏み出していこうと、今、改めて思っています。

つながる縁に感謝

進明中学校長 合川 修一



新採用教員として赴任したのは池田中学校でした。大雪だったその

年の三月末、二メートルを超える雪の壁に挟まれた道を間違っていないのかと不安に思いながら向かったことを今でも鮮明に覚えていてます。昨年八月、その時担任した生徒たち（今は五〇歳）が同窓会を開催し招待してくれま

した。三五年前の話に時間を忘れて盛り上がる中で、「今年の北信越大会のリレー競技で、バトンを落としてしまい泣き崩れている息子に、進明中の生徒が肩を抱きながら声をかけてくれた」と母親としての感謝の思いを私に伝えてくれました。学校に戻って生徒たちに確認すると、励ましてくれた生徒もまた成和時代担任をした生徒の息子であったことがわかり、不思議な縁に私自身が感激してしまいました。

これまでを振り返ると、私の教員生活はこのようなたくさんの縁に支えられてきたことを強く感じます。先輩方に鍛えられ、そして導かれた新たな学校でまた新しい縁に恵まれる。校長として赴任した進明中学校も、初めて勤務する学校でありながら、かつて同僚だった多くの先生方に支えていただいたことも貴重な縁だったように思います。私自身、先生方をつなぎ、縁を広げて、先生方の助けとなることはできたのでしょうか。少しでもお役に立てていることを願い、これまでお世話になった方々すべてに感謝申し上げます。

感謝

藤島中学校長 片岡 祐治



新採用として角鹿中学校に赴任して以来、三年が過ぎようとしています。

その大半を中学校で過ごしましたが、振り返ってみると楽しい思い出よりもつらく厳しく、思い悩んだことの方が圧倒的に多く、鮮明に記憶に残っています。

いわゆる荒れた学校に赴任し、生徒指導や保護者対応に追われ苦悩した日々のこと。家族を顧みず部活動指導に明け暮れたにもかかわらずなかなか結果が出せず指導法に悩んだ日々のこと。自分が思い描く授業がつかれず思い悩んだ日々のこと。管理職になっても思ってもよらない高等学校への転勤があり、組織や業務の違いや人間関係に戸惑いながらも、高校再編に関わる重責を担い、激務の日々を過ごしたと。

これらを乗り越えられたのは、今思い返すと当時の管理職の叱咤激励の言葉であったり、同僚の先生方が力強く支えてくださったこと、思い返すことが大きかったように思います。そして何よりも子供たちの明るく屈託のない笑顔が後押ししてくれたのだと感じています。

最後の七年間は管理職として

勤務しましたが、私が受けたのと同じように、先生方を力強く支えることを第一に考えるところにも、子供たちが生き生きと学校生活を送り、笑顔が絶えない学校を創るべく学校経営を行ってきたつもりです。まだ道半ばではありませんが、先生方がこれまで以上にゆとりをもって教育活動ができる環境にさらに改善されるよう願うばかりです。

最後に、これまでお世話になったすべての方々に心から感謝申し上げます。本当にありがとうございます。

校長で幸せでした

春江中学校長 市村 直哉



「校長先生、幸せですか」という本を御存じですか。著者は学校法人湘南学園学園長の住田昌治先生です。この本に「幸せです」と言い切れる人は、「幸せを感じる」人だと書かれています。

校長として自分を振り返ってみると、幸せを感じることは少なかった。先生方は、一生懸命に仕事をしてくれました。生徒は、できる限り学校に来てくれました。PTA役員を中心に保護者は、学校に大変協力してくれました。多くの人のおかげで、校長を務め終えることができるので、「校長で幸せでした」と、私は言い切れま

す。

校長に就任して掲げた目標は、「校長が代わっても変わらない学校づくり」です。そのために、私が指示を出すのではなく、先生方を信じて任せるように努めました。ただ、丸投げではありません。私がサポートに徹することで、先生方がやりたいことを実現できる学校にすることを目指しました。

その思いに共感する先生が、前述した住田先生です。校長に就任してから三度も、直接お話を伺う機会をいただき、「任せる」校長になることで、先生方が主体的になり、学校が変わることを具体的に教えていただきました。その秘訣は、心理的安定性を確保するために「機嫌よくいること」だそうです。講演で紹介される、ゲーテの言葉「人間の最大の罪は、不機嫌である」は、私の人生訓です。今後、機嫌よく生活することを心掛けて、「幸せです」と言い切るように生きていきます。

歳月不待

丸岡南中学校長 黒川 光憲



「あなたの事を悪くいう人を聞いたことがないねえ。」

近所の散髪

屋で髪を切ってもらいながら言われた言葉です。なんだか褒め言葉のようでもあるし、何の益も害もない存在だと言われたような

気にもなる、不思議な言葉でした。大学を卒業して三八年間、教職に携わってきた私に対する世間の評価なのだろうと思います。初任校は、旧今立町の服間小学校でした。当時は、新採用だからといって業務量に遠慮はなかったのですが、春には校門にある桜の木の下で給食を食べたり、天気の良い昼休みは校庭で子供たちと一緒に遊んだり、ゆつたりした時間が流れていました。この初任校での経験は、私の引き出しを増やしてくれる礎になったように思います。

その後、坂井市内小・中学校での勤務はもちろんですが、社会教育行政や環境教育行政にも携わる機会を得ました。学校では出せないような多くの方々とも出会い、様々なものの見方を学ぶことができました。そして、一つの学びは、引き出しの彩りを豊かなものにしてくれました。

本校の校長室と廊下は、天井から床までガラスで隔てられています。今もガラスの向こうで生徒が私に手を振って挨拶しています。彼らを見る度に、私の引き出しが彼らの成長に役立てられないか、何より彼らと真剣に向き合えたことがなんと幸せだったのかを改めて感じています。

子供が好き

金津中学校長 荒川 誠



福井市鷹巣中学校にて教員の第一歩を踏み出してから、はや三八年

が経とうとしています。この長きにわたって教員生活を送ることができたこと、それは多くの方の御支援があったからであり感謝の一言に尽きます。

当時は、学生気分が抜けきらず、自分なりに一生懸命に勤務していたと思うのですが、今になって振り返ると、ずいぶんいい加減だったと反省します。できるならもう一度、二三年前の四月一日に戻りやり直したいと願うのです。

教員採用試験の面接で、

「私は子供が好きなんです。」と、自信をもって答えた気持ちは今も変わりません。校長になつてからは、さらにこの思いが強くなりました。今でも生徒の前で話すときには、「私はこの学校が好きで、この学校の生徒は日本一だと思ふ。」と言い続けています。

しかし、時間だけはどんどん過ぎていきます。最近では授業の巡回に加え、休み時間にも積極的に廊下に出て、生徒たちに声を掛けるようにしています。この触れ合いが、私を元気にしてくれるのです。

私は何もとりのえない普通の人間です。授業も下手で、生徒指導に至っては、自分の自己満足だけでやってきました。でもこんな人間でも「子供が好きだ」という気持ちがあれば何とかやってこられるのです。そう考えると、「子供が好き」という気持ちこそが教師には一番大事なことであり、その気持ちがあればなんとかなるものです。だから、本校の若い先生たちには、教師になりたいと思つたその気持ちを大事に頑張つてほしいといつも言っています。

OJTの賜物

尚徳中学校長 土藏 清治



今、退職を前に教員としての礎を固めてくれた三国中学校、力量アツ

プに導いてくれた開成中学校を筆頭に、これまで交わりのあつた方々に感謝の念でいっぱいです。

新採用は昭和六三年。三国中学校は当時全校生徒約一〇〇〇人で、早速一年六組四三人の担任になりました。しかし、同年代がバリバリ活躍している中、トラブルの芽に気付かない+自分の不十分な対応も重なり、次々と多種多様な問題が発生しました。その都度周りの方々からの助言・助け舟・叱咤激励で乗り切ることができました。ただ、成長とは程遠く、ときには雷や説教もあり、力

不足のまま迷惑をかけた続けた三年間でした。

開成中学校へ異動し、二度目の一年担任になりましたが、今度は一転何事もスムーズに進み、正に三国中学校での経験、山あり谷ありの猛烈なOJTの賜物でした。生徒会、続いて研究主任を務めました。指導力のある先輩方がアドバイスや協力を惜しまず、提案したことを管理職も含めて理解を示して幾度も後押ししてもらいました。職員厚生では、多くの人を誘い、次々とイベントを実施したことが懐かしい思い出です。

その後、社会教育主事や市教委課長補佐を拝命し、校外の幅広い出会いと共に、様々な研さんを積む機会を得ました。現在、校長として教職員の指導育成に際し、昭和の私に効果のあつた叱咤激励を封印し、令和の若手には鼓舞激励を心掛けています。

感謝 感謝 感謝

武生第二中学校長 川崎 正人



私が校長として最後に勤務したのは、県内では唯一の分校がある学校です。市街地に位置し、全校生徒数が四〇〇名を超える本校と、山間部にあり、三学年あわせて一〇数名の生徒が在籍している分校。それぞれにスクールプランがあり、学校日誌は別々、本校から

起案される文書と分校から起案される文書。大変なこともありませんが、楽しいことや嬉しいことも二分校。二つの学校の経営にいっぺんに携わることができました。感謝しています。

「今日の一針 明日の十針」これは、私が教師になって三年目に合った言葉です。今日ならば一針縫うだけで繕えるほころびをそのままにしておけば、明日は十針も縫わなければならなくなるという意味で、今しないで後回しにすることを戒めています。学習指導においても生徒指導においても、そして、校長になってからもこの言葉を常に意識してきました。判断に迷ったときや悩んだときは、いつもこの言葉が背中を押してくれました。感謝しています。

校長は孤独だと言われることがあります。しかし、私は一度もそれを実感したことがありませんでした。慎重に対応しなければならぬような問題に直面しても、生徒の挨拶や笑顔に元気をもらい、いつでも相談できる同僚や校長会の仲間にも助けられ、学校のことを一番に考えてくださるPTAに支えられて、乗り越えることができました。皆さんのおかげで、充実した時間を送ることができました。感謝しています。



日々是好日

武生第六中学校長 田倉 富栄



「フットワークが軽い。」と（上手に言っていたら）、がむしやらに

走ってきた教員生活を振り返る時が来ました。数学の授業、進路指導、家庭と仕事との両立、危機管理、学校経営、働き方改革、ふるさと教育：諸先輩方や同僚の先生方から、そして子供たちから刺激を受け、共に楽しみ、共に悩んだ日々が本当にあつたという間で、懐かしく思い出されます。私は、「子育て」をさせていただいて「親育ち」をさせていただいて、「教員」をしてきたのだと実感しています。

特に、校長として、感染症対策を講じてきたこの数年間は、「最初からあきらめず、Worshipを採り、変化させていくこと。」を常に考え、「やってみてダメなら元に戻せばいい。」と、常識と呼ばれていたものを壊し、改革を大きく進める後押しができた日々でした。挑戦してうまくいかなかったことは失敗ではなく、やらなかったことがもったいない。そう思える、たくさん思い出とたくさんの方々との出会いに感謝です。本当にありがとうございます。

子供たちにとっても、私自身にとっても、人生は一度きり。だから「日々是好日」。晴れの日も雨の日も、良い日か悪い日を決めているのは自分の心。今日も、明日もプラス思考で、元気に、変化を恐れず、積み重ねてきたすべてを大切に生きていきます。

まだまだこれから

栗野中学校長 辻村 完



校長として五年間務めさせていただきました。この五年間、それぞれの学校で生徒に言い続けてきたことは、「人の心と体を大切にしよう」「自ら行動しよう」「周りの人と繋がろう」です。いじめ、多様性、主体性、レジリエンス等々、次から次に対応が求められる課題に対して、私として特に大切に

してほしいことをこの三つのフレーズにして機会あるごとに生徒に伝えてきました。そう簡単に解決するものではなく、そう簡単に力がつくものでもなく、地道にコツコツ指導していくしかないことを痛感してきた五年間で、教職員全てをぐいぐい引っ張っていく力量のない私としては、ただひたすら教職員の皆さんにお願ひし、前面に立って生徒に向き合ってもらうしか術はありませんでした。その際には、教職員一人一人の能力・得意とする

ことと、その潜在能力を精一杯発揮できる場面を見極め、チャンスを与えることに注力してきました。ベテラン、中堅、若年それぞれが意欲的に取り組める業務をお願いしてきたつもりです。なかには結果を出し、次の可能性に挑戦したいということすら伝えてくれる教職員もいました。大きな成果は残せませんでした。少しだけではありません。教職員一人一人の成長にも繋がったかなと思っています。

これまでの出会いに感謝

松陵中学校長 金井 光広



新採用の赴任地は栗野南小学校でした。その後市内四中学校で勤務

させていただき、母校の気比中学校には二度勤務することができました。そして校長として三〇年ぶりに小学校に赴任、白砂青松の松原小学校長を拝命しました。令和という新しい時代の幕開けでしたが、コロナ禍、一人一台端末の導入、働き方改革…「教育の不易と流行」に悩んだ三年間で

最後の二年間は、「明るい松陵」を校是とし、部活動と生徒指導に奔走した松陵中学校に二〇年ぶりに勤務する機会をいただきました。その当時中学生だった生徒たちが保護者となり、PTAとして学校を支えてくれています。この校区・地域への愛着がさらに高まったことを覚えています。

大規模校や荒れた学校も経験させていただき、その多くを中学校で過ごしました。感受性豊かな時期を生きた生徒、その保護者とのふれあいを大切にしてまいりました。さらに、東海北陸研究会やバレーボール競技という部活動を通して、多くの県外の生徒や先生方とも楽しく活動させていただきました。また、教育行政に勤務する機会もいただき、学校現場を支えてくださる方々や地域の方々とも交流を深めることができ、常に周りの方々に助けられました。

これまでに出会い、お世話になった方々に深い感謝の思いをお伝えしたいと思います。皆さま本当にありがとうございました。

ひっそりじんわり

三方中学校長 今川 直



春の陽気を体中に満ちた新入生。彼ら彼女らを迎える喜びと緊張感には中毒性すら感じます。やり直しのき

く「節目人生」の始まりでもあり、前年にもまして気合いが入る無我夢中の清明期。◆爆発的な春の芽吹きを経て野山に夏の気配が立つ頃、ようやく一息つきこそぞとばかりに練習試合を組んで、妻にも我が子にも見放されそうになった六年目立夏。◆「先生！麦の穂が踊ってるよ！」国語科教員としての方向性を決定づける子供のつぶやきと出会った二年目。

◆汗をかきかき真つ黒に日焼けしながら働く大暑から立秋そして処暑。「夏休みは何で学校行くの？」と教員の夫をもつ専業農家の母の言。周りからの理解なしに働き方改革も進みません。◆熱中症に悩まされつつも朝夕の涼風に癒やされ新チームが活気づく白露秋分。コロナと相まって大会も秋の行事も様変わりしました。◆そして、一年で最も心が震え、心底生徒たちが愛おしくなる霜降から立冬。部活動を引退し進路選択を控えた生徒の野太く美しい歌声、繊細で豊かな心持ちを吐露する詩文が、私の心の琴線に触れます。◆寒さ極まり一陽來復を待つ今、原稿を書く私の足下を暖めてくれるのは新採用のころ共済組合か互助会からいただいた電気ストーブです。三〇数年間ずっと私を暖め続けてくれました。これからは、私がどこかの誰かをひっそりじんわり暖められたらと思います。◆皆さまのお支えありがとうございました。

たくさんの人に 支えられて

大飯中学校長 時岡 聡



昭和六一年四月、初任者として赴任したのは、高浜町の音海小中学校でした。

すでに閉校していますが、海と山に囲まれた自然豊かな学校で、教員生活のスタートを切りました。小学校の複式学級を担任しながら、中学校の授業やソフトテニス部(当時は軟式テニスという名称でした)の顧問を担当していました。その頃、中学校の多くの教員がそうであったように、私の中でも部活動指導に注ぐ情熱は日に日に大きくなり、ボールが見えなくなるまで、それこそ土日も休みなく生徒とボールを打ち合ったものです。

それから三〇数年の時を経て、中学校長として働き方改革や、部活動の地域移行・地域連携に取り組みながら、あらためて、学校や子供たちを取り巻く状況の変化の大きさを感じているところです。

月並みな表現ですが、三八年の教員生活も、今となつてはあつという間だったという気がします。担任をしていた時にも、管理職になつてからも、様々な課題は常にありましたが、微力な私でも何とかここまでやってこられたのは、

その時々管理職や同僚の先生方からの指導や助言、関係機関からの支援、保護者や地域の皆さんからの協力、そして、何よりも目の前の子供たちの存在に支えられたおかげです。

このような幸せな教員生活を送ることができたことを心から感謝しつつ、今後は、自分にできる形で恩返しをしたいと決意を新たにしているところです。

多くの方に助けられて

内浦中学校長 安達 克博



新採用として赴任した内浦小中学校。そして退職を迎えるのも内浦

小中学校。私の教員生活は、内浦に始まり内浦で終わりました。その間、多くの方々に出会い、教わり、助けていただいたこと、本当に感謝しありません。

複式の授業では、複数学年を同時に指導する難しさに悩みました。部活動の指導では、なかなか上達しない子供たちを前にイライラしたこともありましたが、崩壊寸前のクラスを担任し、子供たちと真剣に話し合いました。体育主任や生徒指導主任を担当した時には、全校児童への指導に苦労しました。教頭での三年間は地元ではなく隣の市で勤務しましたが、初めてお会いする方が多く、遠慮から管理職として思うような働

きができませんでした。

そんな時、そばには必ず管理職や同僚、保護者、地域の方々の存在がありました。今振り返ると、温かく見守ってくださり、応援してくださり、協力してくださったことが多かったなど、改めて感じます。

校長としての三年間は、先生方にとつて過ごしやすい職場環境にすることがだけを考えていましたので、的確な指示を出すこともなかつたように思います。しかし、こんな校長を支えてくれたのも、教頭をはじめとする職場の教職員でした。申し訳ありませんでした。

今まで、御指導とお力添えをいただいた多くの方に感謝して教員生活を終えたいと思います。ありがとうございました。

良き出会いに感謝

高浜中学校長 時岡 常和



「光陰矢のごとし」と言いますが、過ぎ去った時間はとても早く感じるものです。昭和六一年に新採用として内浦中学校に赴任してから、三八年が経ちました。あつという間でもとても短く感じます。子供たちの可能性を信じ、先生方や保護者、地域の方々と協働し、全力で取り組んだ充実した日々であつたとつくづく感じます。

振り返ってみますと教員生活のほとんどが中学校勤務で、中でも高浜中学校での勤務が長く、教諭として一八年、管理職として五年と合わせて二三年間お世話になりました。そして、校長として六年間、母校である高浜小学校と高浜中学校に勤務することができ、母校に勤務する喜びと責任の重さを感じながら、少しでも恩返しをと思い精一杯務めてきました。

地域に支えられ、恵まれた環境にある高浜中学校では、「地域と共に歩む学校づくり」に向けて、探究学習や地域貢献活動、生徒会活動など職員と生徒が一丸となつて積極的に新しい取組を推し進めてきました。特に、地域のより良い未来を創造し提案する企画提案型探究学習や地域貢献活動などの取組に関して、多くの教員たちが全面的に協力してくれました。明るく素直で元気な子供たち、情熱あふれる先生方、そして、学校のために協力を惜しまない保護者や地域の皆様に支えられ、終生忘れられない貴重な経験をさせていただきました。心から感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

編集後記

福井県中学校長会の窓 第一四七号を発行できますこと、厚く御礼申し上げます。御寄稿いただきました校長先生方、大変お世話になりました。ありがとうございました。 広報部